

不景気打破！町内の職人技で統合中学校建設を

町長…工事請負業者と話し合います。



青木 久子 議員

町民の生活は苦しい…せめて建設は町内職人で			
18年度決算で町税の滞納額			約4,000万円
国民健康保険税の滞納額			約3,000万円
合 計			約7,000万円
18年度決算で不納欠損額	町税		521万円
	国民健康保険税		371万円
	介護保険料		22万円
合 計			913万円

職人の町として誇れる統合中学校の建造物を作れ

木のぬくもりもある好環境整備をすべきではないか。

町長 3階建てなので木造とはいかないが、内装には木材を豊富に使い、木のぬくもりを生かした校舎整備に努めたい。

優秀な技能を持つ町内職人を起用すべきでは。

雪国にふさわしい屋根の構造は町で指定しては。町長 維持管理経費の軽減が図られるような配置・意匠・構造で設計されるように、十分に協議しながら進めます。

少子・高齢化社会において、元気な地域にするためにも「ふれあいオープンスクール」の開設を

社会福祉協議会と行政で連携し、健康増進や地域のふれあいの場づくりに各地区での事業展開をすべきと考える。

海外からの花嫁さんや世代を越えてのコミュニティの充実、伝統行事の伝承など。また、子どもたちの遊ぶ場所がない。遊び相手がない。子どもと高齢者との学習事業の展開を推進すべきではないか。

町長 世代を越えた地域の方々の交流・学習活動が進められるような地



庁舎前の身障者用駐車場

域づくりが大切であり、地域でのボランティアなどによる活動が不可欠となります。地域でできること、町でやるべきことを整理して進める必要があります。今後研究したい。

6月15日、県の事業として身障者用駐車場の「利用証制度」がスタートした。当町の整備は、身障者大会でも要望があった。未だ設置ならず、

早急な設置が望まれるが、町長 庁舎前に、9月4日に設置しました。今後各施設に整備します。現時点で、庁舎などは対象施設として県へ申し出は行っていないが、利用証制度の啓発には努めます。



すべて切断された、実験中の蔦（横山地区）

特殊堤壁面の緑化にはどのような経緯があるのか。

町長 特殊堤は完成以来横山地区の洪水防止に大きな貢献をしてきました。しかし、巨大なコンクリートの壁面が河川と街を分断し、町民を最上川から遠ざける要因になりました。平成12年、国は町民、地区民の声を反映させ、修景事業を進め、順次、壁面の緑化や親水空間としての歩道、休憩施設を設置してきました。

堤防で実験中の蔦が枯れている。どうしたのか。

町長 蔦による緑化は平成12～14年度まで3ヶ年取り組みましたが、まだ計画通りに伸びず壁面を覆うまでに至っていません。そのために間伐材を

活用して蔦が壁に伸びるように、この2年間実験をしてきました。あと1m程で上まで届くところまで成長したとき、何者かに、実験中の48株すべてを根本から切断されました。

この事件をどのように処置したのか。

町長 所有者である新庄河川事務所は、7月20日に警察に被害届を出しましたが、加害者は未だ見つかっていない。大変憤慨していると同時にモラルの向上を求めます。

プランターの中に雑草・小木が伸びているが、きちんとした管理組織はできないのか。

町長 現在、蔦は新庄河川事務所が管理しているま



雑草で覆われるプランター

すが、限られた職員数ではなかなか困難でありますので、地元地区民の協力体制の確立が必要と考えています。

国・町・町民との一体となった協働の管理体制を立ち上げるべく、過去何回か話し合いをした経過はありましたが、具体化せず今日に至っていません。今後とも話し合っていきます。



小玉 勇 議員

最上川特殊堤(横山側)は誰が管理しているのか

町長：原則的には国です。